

# 最近の経済情勢

## (県内企業経営状況調査の結果)

- ◇ 調査期間 令和4年5月16日～5月27日
- ◇ 対 象 県内企業500社対象
  - ・有効回答196社：回答率39%
  - ・内訳：製造業 250社(回答112社)  
非製造業 250社(回答84社)
- ◇ 方 法 Webアンケート

産業労働部

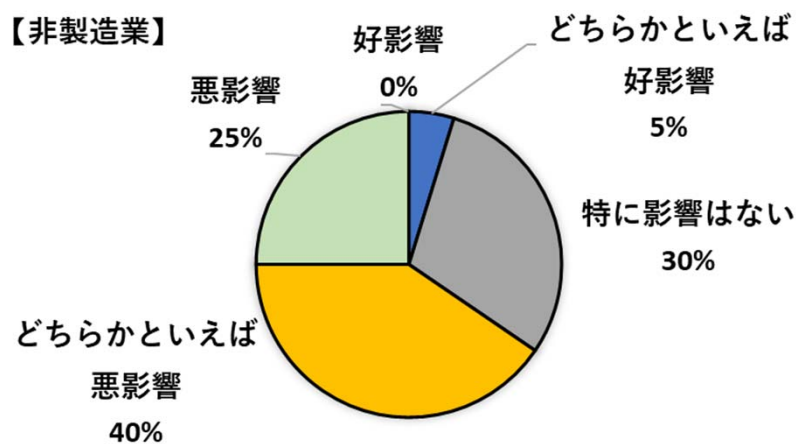
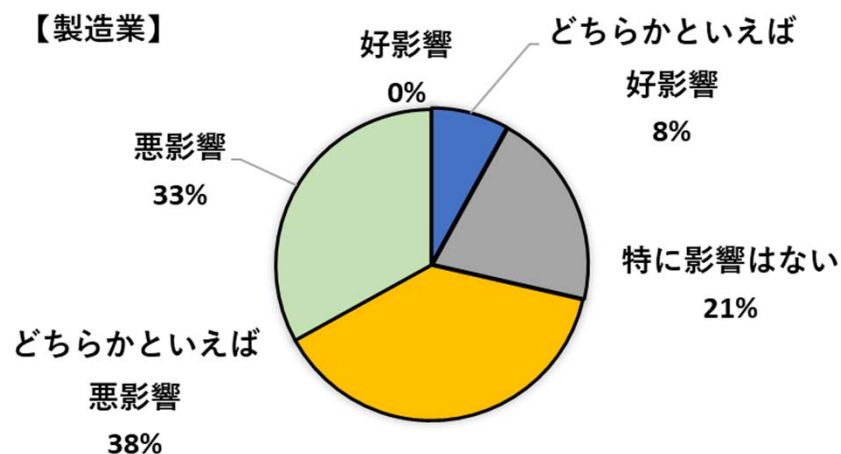
# 設問

---

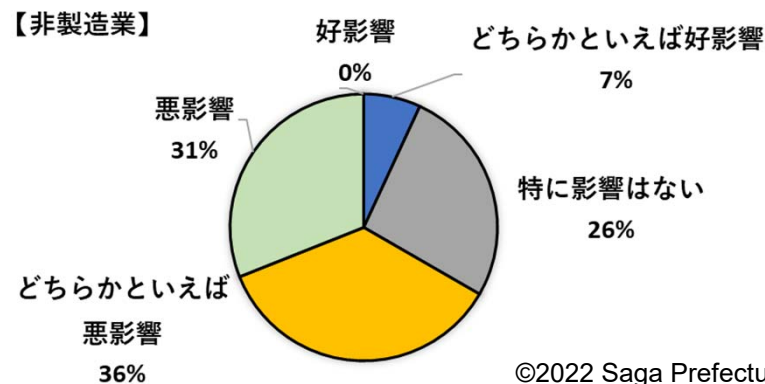
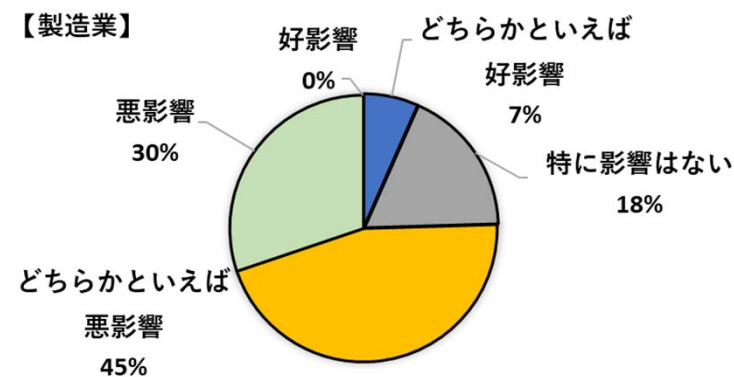
- 1 新型コロナウイルス感染症が経営に与えている影響
- 2 原材料・エネルギーコストの状況：①1年前との比較、②価格転嫁状況
- 3 業況：①現況、②3か月前との比較、③今後(3か月程度)の見通し
- 4 経営課題
- 5 設備投資：①取組姿勢、②予定している設備投資の目的
- 6 雇用状況：①従業員数の過不足の状況、②過不足職種

# 1. 新型コロナウイルス感染症が経営に与えている影響

- 製造業では「悪影響」、「どちらかといえば悪影響」を合わせた割合が若干減少。非製造業ではほぼ変わらない。
- 「悪影響」の割合が高いのは、宿泊業、飲食サービス業の約7割、生活関連サービス業、娯楽業の約6割である。



(参考) 前回(令和4年1-2月)調査時



# 1. 企業の主なコメント

## 製造業

どちらか  
といえば  
好影響

・外食、中食は落ち込んだままだが、冷凍のごはん類が好調。

(食料品製造業)

影響無

・コロナ禍も3年目となり、家で過ごす時間も増えたりしたことで、インテリアにも興味を持って頂き、消費にもやや繋がっている感がある。

(家具・装備品製造業)

どちらか  
といえば  
悪影響

・出荷前の客先立会い検査ができず、売上を予定していた月に計上できない。

(生産用機械器具製造業)

悪影響

・半導体不足と上海のロックダウンの影響から自動車の減産が続いている。

(輸送用機械器具製造業)

## 非製造業

どちらか  
といえば  
好影響

・巣ごもり需要が生活スタイルとしてある程度定着している。

(飲食料品小売業)

影響無

・テレワーク等による働き方改革で、事務所で使用するOA機器等の保守料は減少。  
一方で、新しい商材やクラウド製品の売上は増加。

(機械器具卸売業)

どちらか  
といえば  
悪影響

・修学旅行等の学生団体は戻りつつあるが、ツアー関係等の貸切バスの需要がまだ戻っていない。

(道路旅客運送業)

悪影響

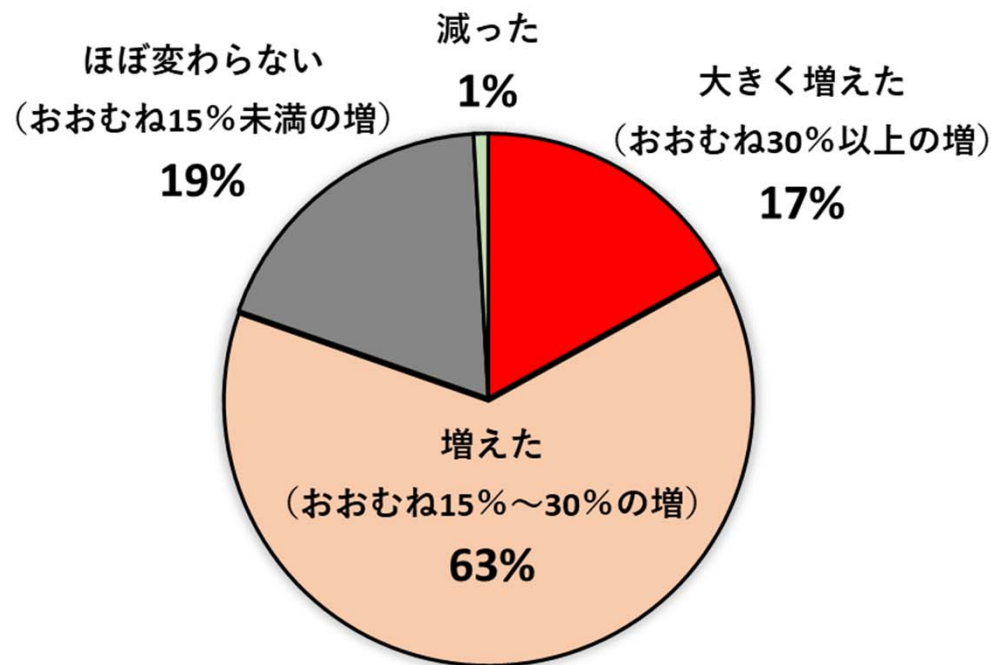
・インバウンド・団体の需要が未だ回復せず、個人需要も県民割やブロック割がある時だけで、売上はかなり落ち込んでいる。

(宿泊業)

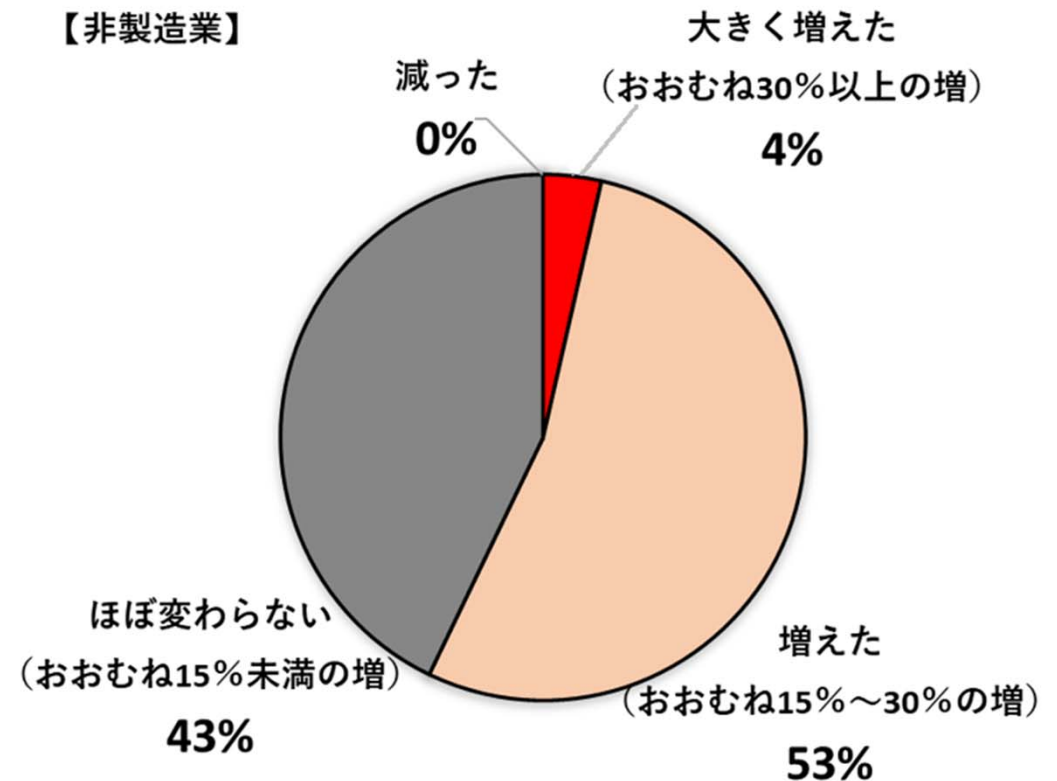
## 2. 原材料・エネルギーコストの状況 - 1年前との比較-

- 製造業では「大きく増えた」と「増えた」を合わせた割合が約8割。
- 非製造業では「大きく増えた」と「増えた」を合わせた割合が約6割。

【製造業】

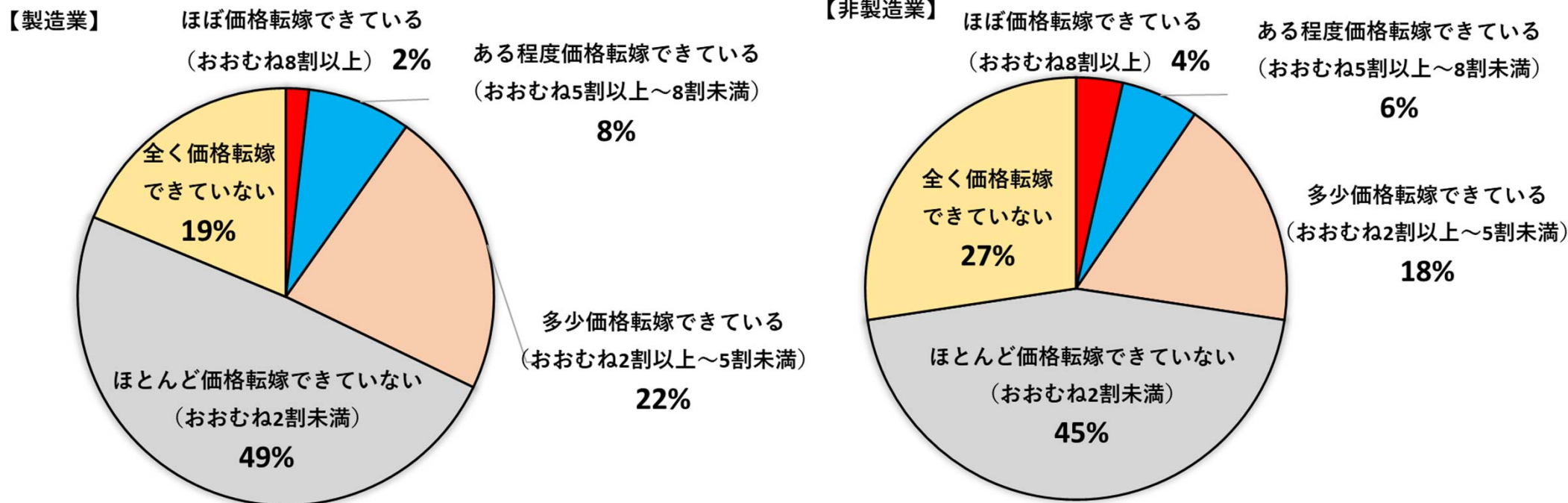


【非製造業】



## 2. 原材料・エネルギーコストの状況 - 価格転嫁状況-

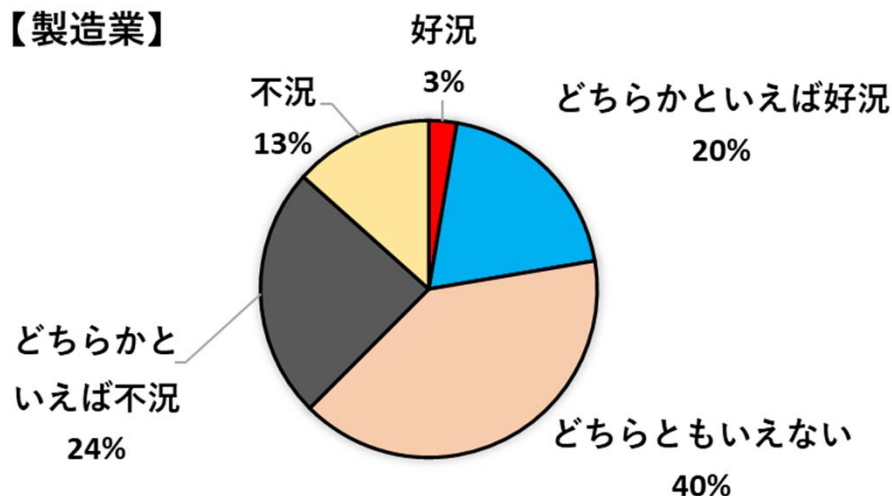
○ 製造業、非製造業ともに、「全く価格転嫁できていない」と「ほとんど価格転嫁できていない」を合わせた割合が約7割。



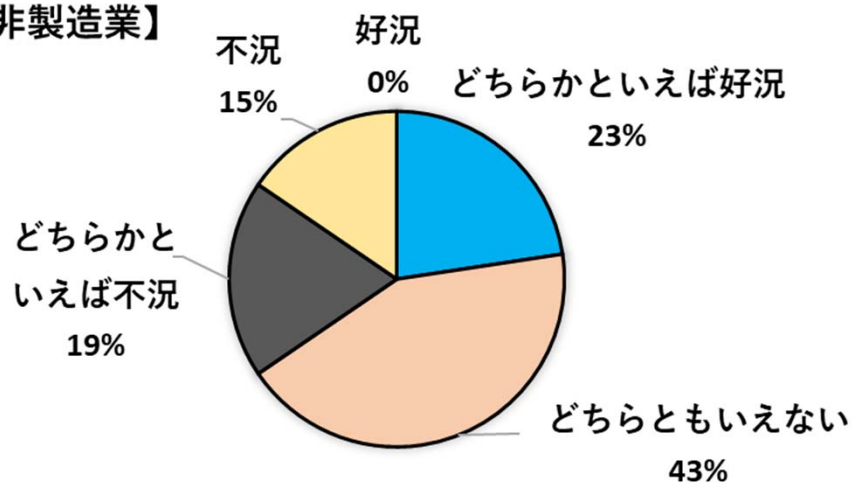
## 2. 業況 - 現在の業況 -

- 製造業では「不況」と「どちらかといえば不況」を合わせた割合が減少。
- 非製造業では「どちらかといえば好況」が増加し、「不況」と「どちらかといえば不況」を合わせた割合が減少している。

【製造業】

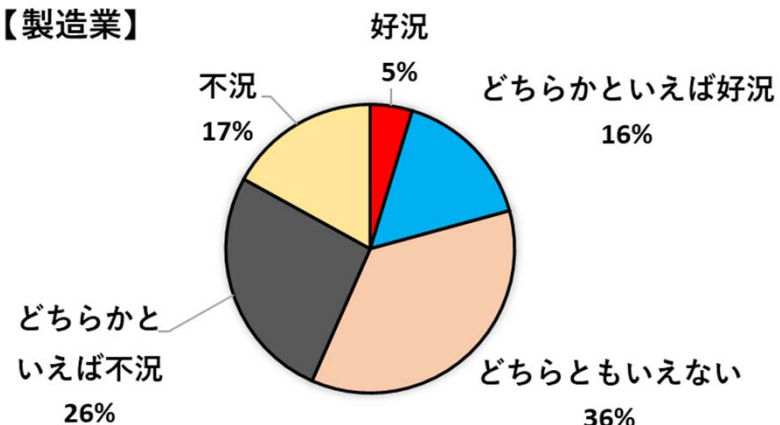


【非製造業】

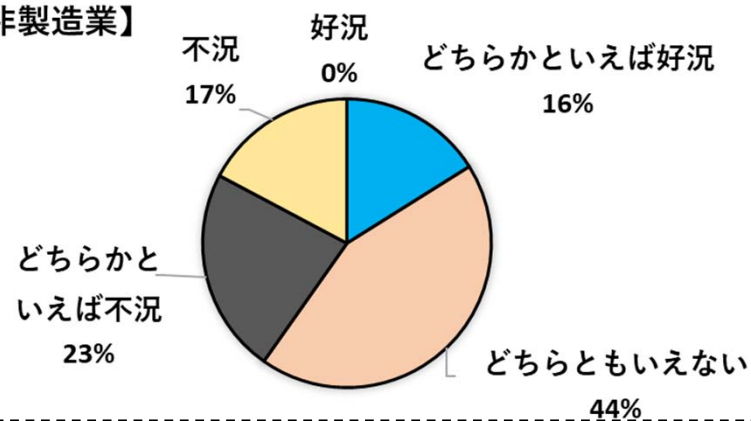


(参考) 前回(令和4年1-2月)調査時

【製造業】



【非製造業】



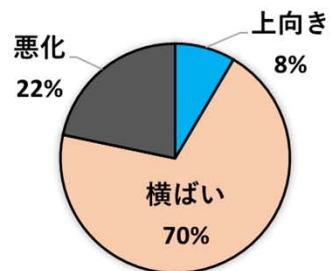


### 3. 業況 - 変化 (3か月前→現在→3か月後)-

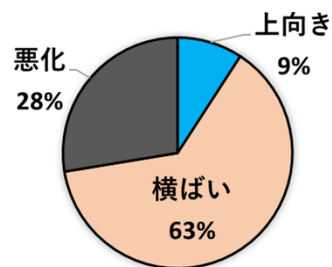
- 3か月前から現在までの業況は、前回調査の予測と比べ、製造業では「上向き」が増加している。非製造業では「上向き」が増加し、「悪化」が減少している。
- 今後3か月の業況は、製造業で「悪化」が減少している。非製造業で「上向き」が減少し、「悪化」が増加している。

(参考) 前回(令和4年1-2月)調査時の  
現在→3か月後の予測

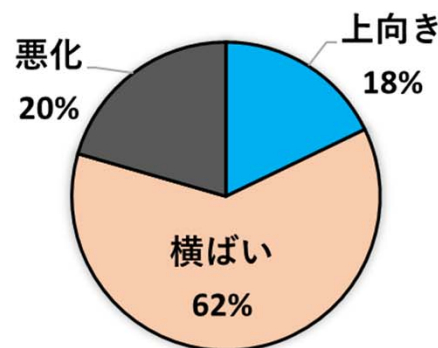
【製造業】業況の変化(現在→3か月後)



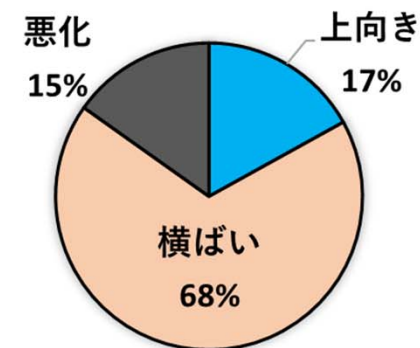
【非製造業】業況の変化(現在→3か月後)



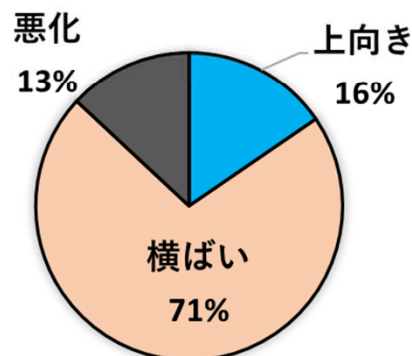
【製造業】業況の変化(3か月前→現在)



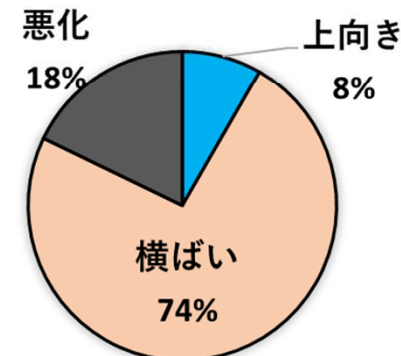
【製造業】業況の変化(現在→3か月後)



【非製造業】業況の変化(3か月前→現在)



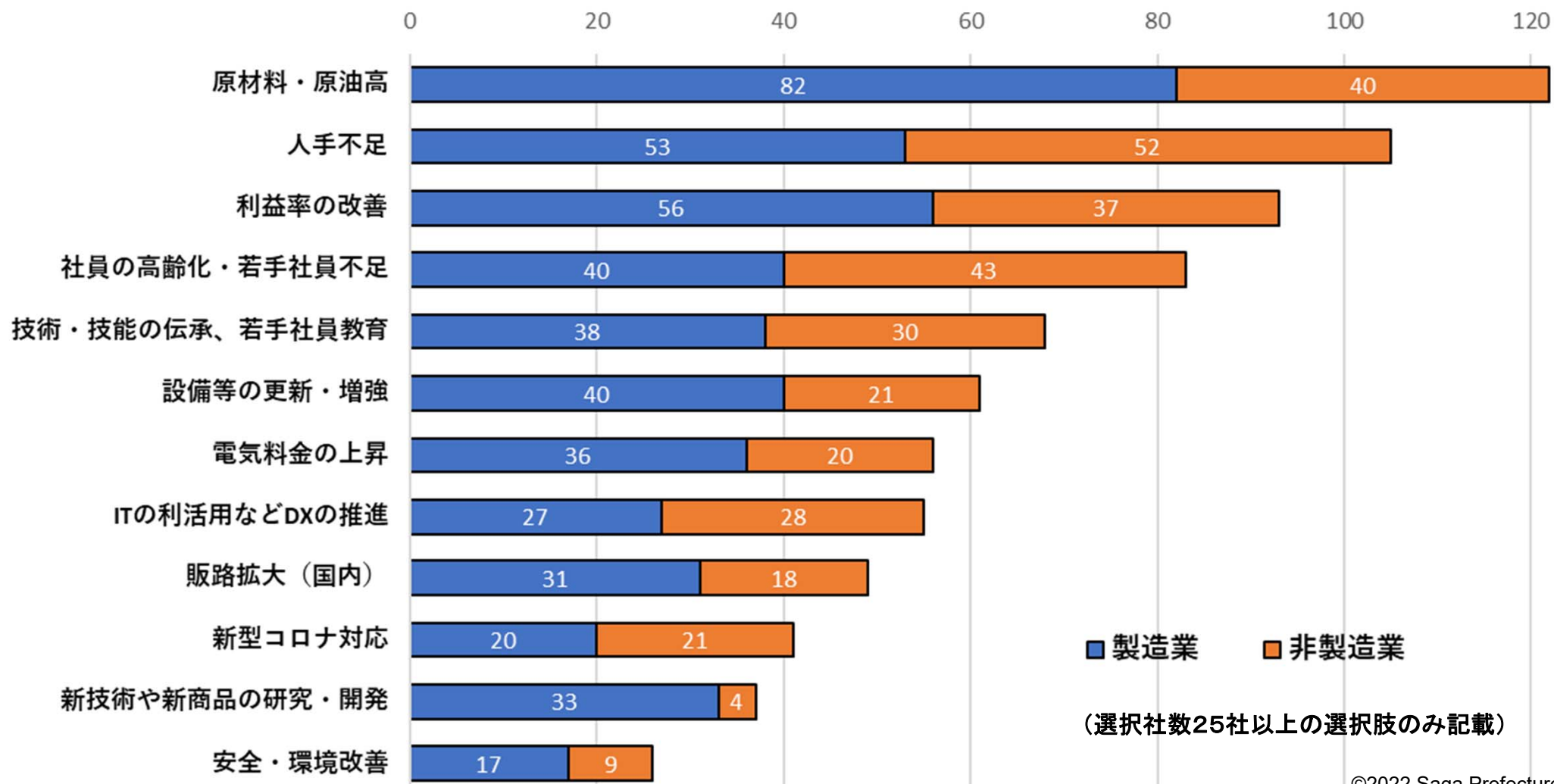
【非製造業】業況の変化(現在→3か月後)





# 4. 現在の経営課題 (複数回答)

製造業	原材料・原油高	82社 (73%)	非製造業	人手不足	52社 (62%)
	利益率の改善	56社 (50%)		社員の高齢化・若手社員不足	43社 (51%)
	人手不足	53社 (47%)		原材料・原油高	40社 (48%)



■ 製造業 ■ 非製造業

(選択社数25社以上の選択肢のみ記載)

## 4. 企業の主なコメント

---

### 製造業

#### 【原材料・原油高】・【利益率の改善】

・製造原価の増加が製品単価に反映できないことが多い。

(食料品製造業)

・原油価格の高騰に伴う原材料や燃料費の大幅なコスト増に対応できない。

(窯業・土石製品製造業)

#### 【人手不足】

・生産能力増強に努め、受託などを展開していくが人員確保に苦慮している。

(生産用機械器具製造業)

・自社商品開発を考えているが、若い人材の募集をかけてもなかなか来ない。

(金属製品製造業)

### 非製造業

#### 【人手不足】・【社員の高齢化・若手社員不足】

・少ない若手社員が奮闘してくれている。ベテラン社員の後継者づくりが急務。

(飲食料品小売業)

・社員の高齢化は死活問題であり、技術の継承や将来の会社存続にも多大な影響がある。  
しかしながら、求人するもなかなか応募者がいない。

(総合工事業)

#### 【原材料・原油高】

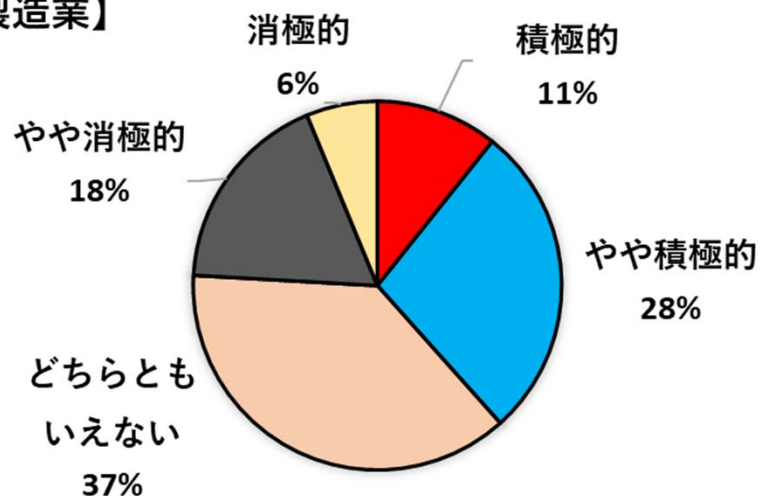
・原油価格高騰に伴う資材価格の上昇を受けて、販売価格を上げた際に、価格競争に勝てるかどうか課題。

(設備工事業)

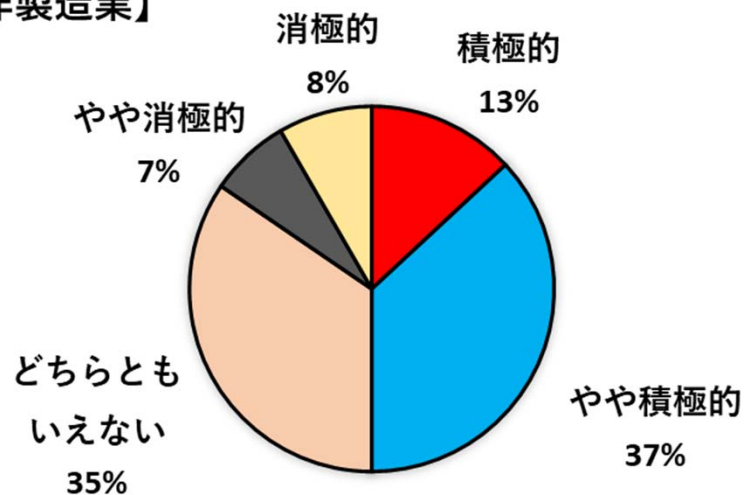
## 5. 設備投資 - 取組姿勢 -

- 製造業では、「積極的」と「やや積極的」を合わせた割合が減少し、「消極的」と「やや消極的」を合わせた割合が増加している。
- 非製造業では、「積極的」と「やや積極的」を合わせた割合が増加し、「消極的」と「やや消極的」を合わせた割合が減少している。

【製造業】

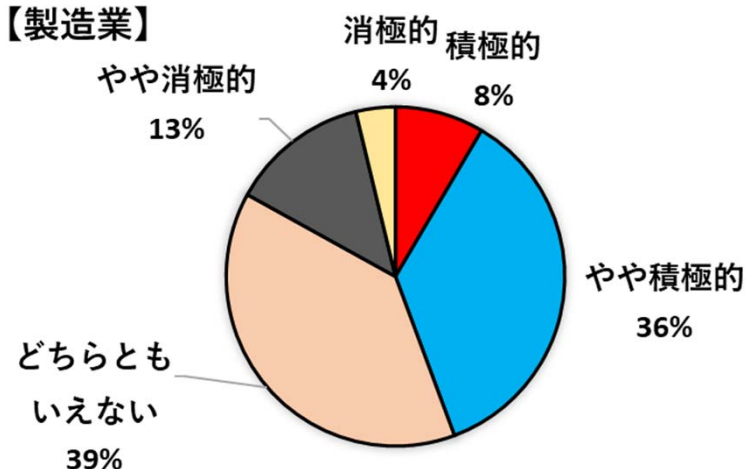


【非製造業】

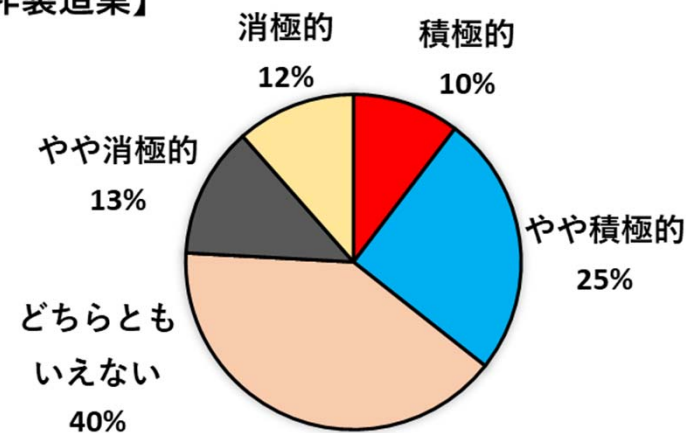


(参考) 前回(令和4年1-2月)調査時

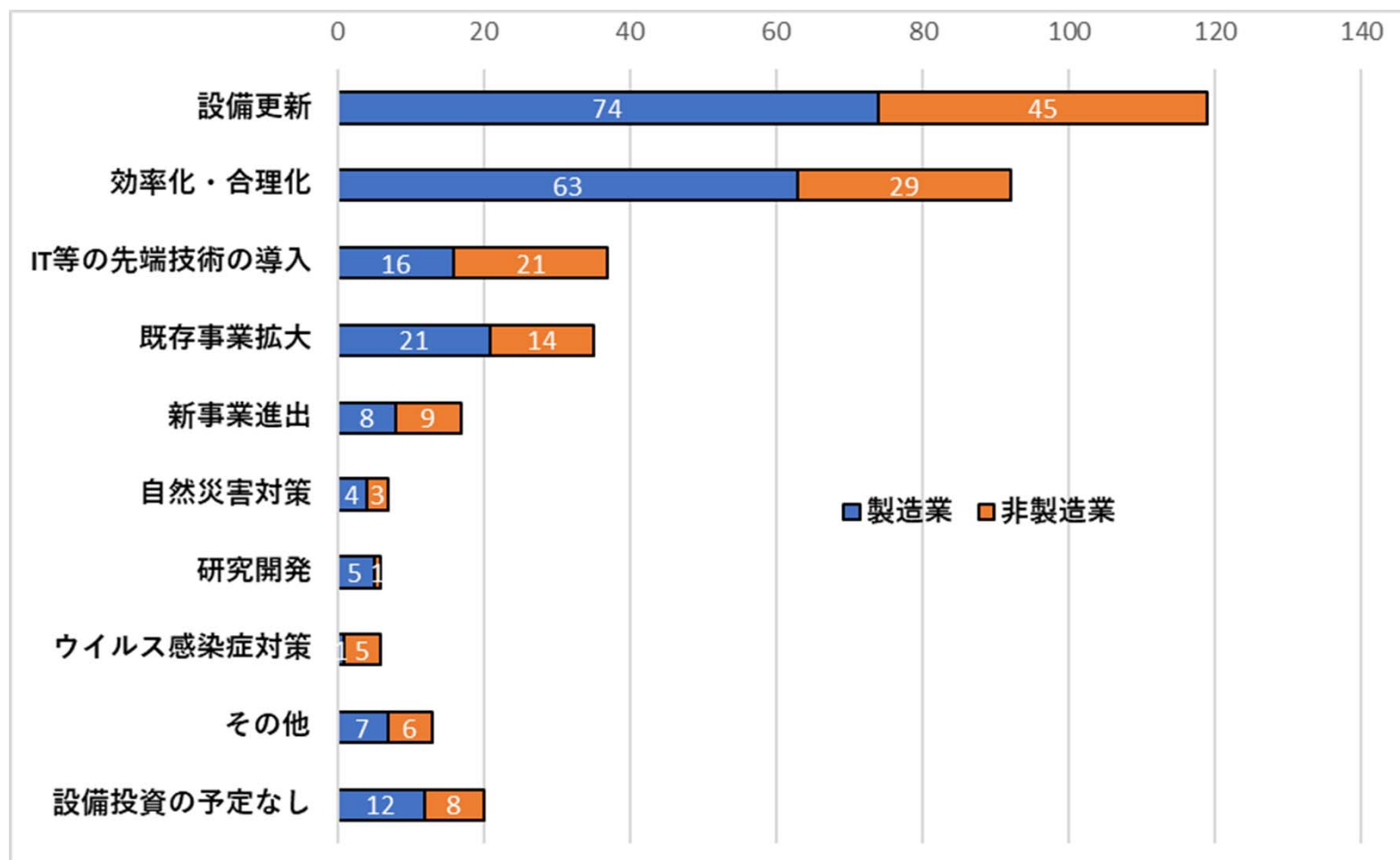
【製造業】



【非製造業】



## 5. 設備投資 - 目的 -



### 企業の主なコメント

・定期的な設備更新を実施。半自動化や省力化に向けた投資も実施予定。

(繊維工業)

・水害対策関連が主

(生産用機械器具製造業)

・ICT技術搭載の機械や測量機器の導入は時代の要求であり、遅れないように対応が必要である。

(総合工事業)

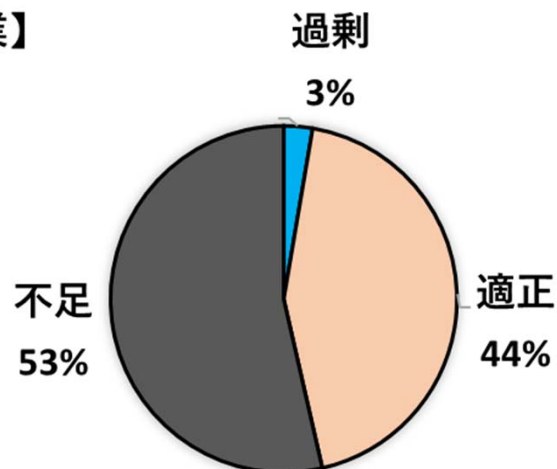
## 6. 雇用状況 - 過不足感 -

○ 製造業、非製造業ともに「不足」の割合が若干減少している。

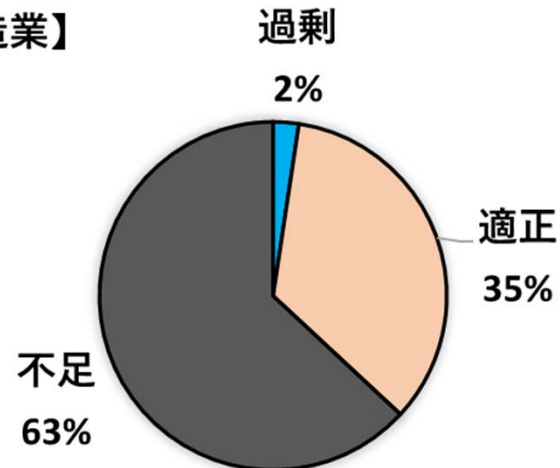
○ 「不足」職種の上位は、製造業で技能工(65%)、単純工(57%)、非製造業で専門・技術(47%)、販売・営業(38%)。

(複数回答、括弧内は「不足」と回答した企業中の回答割合)

【製造業】

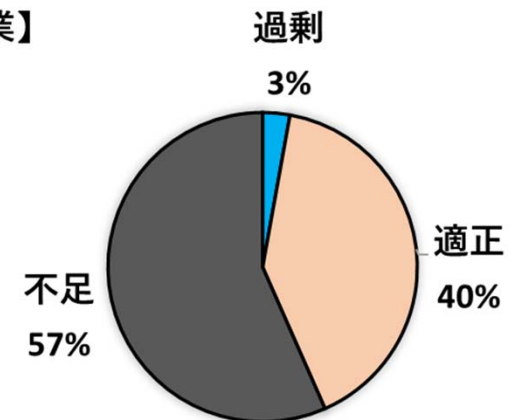


【非製造業】

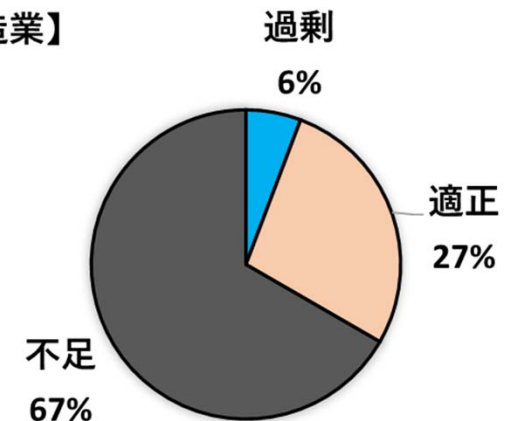


(参考) 前回(令和4年1-2月)調査時

【製造業】



【非製造業】



## 6. 企業の主なコメント

---

### 製造業

#### 「不足」

- ・新卒以外に即戦力の技能を有した人材も必要。（非鉄金属製造業）

#### 「適正」

- ・現在の人員数は不足していない。高齢化により若返りが必要だが、若手の人材確保ができていない。（その他の製造業）

### 非製造業

#### 「不足」

- ・日曜祝日に働く人が少ない。募集しても平日に偏る。（飲食料品小売業）
- ・新卒求人を出しているが、ここ数年、一人の応募者もなく困っている。当社は新卒にこだわらないため、今年からは新卒求人を出しつつ、中途採用も並行して進めていく予定である。（総合工事業）